

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は 2024 年の日本陸上競技連盟競技規則によって実施する。

2. 競技者の招集方法について

①招集所は第 4 ゲート（200m スタート地点外側）に設ける。

②各種目の招集時刻・招集完了時刻はすべてその開始時間を基準とし、下記の要領で行う。

種 目			招集開始時刻	招集完了時刻
トラック			30分前	20分前
※組み毎に設定する場合がある				
フ ィ ー ル ド	跳 躍	走高跳 走幅跳 三段跳	50分前	40分前
		棒高跳	70分前	60分前
	投 て き		50分前	40分前

・招集完了時刻に遅れたものは、棄権とみなす。

・招集開始時刻に必ず本人が点呼を受け、招集完了後係員の指示に従って競技場に入場する。

・他の種目に出場しているなど特別な事情がある場合に限り、代理人による招集を認める。

この場合、必ず競技者係主任に申し出る。

・混成競技の招集は、第 1 日目・第 2 日目の最初の競技種目のみ、上記の要領で行う。

以後の招集は、競技場現地で行う。トラック競技はスタート地点、競技開始 15 分前完了、フィールド競技は、競技開始 30 分前に完了する。

・リレーオーダー用紙は、各レース 1 組目招集完了時刻の 1 時間前までに招集所競技者係に提出する。リレーオーダー用紙の提出がない場合は、棄権とみなす。

3. 選手の変更は認めない。

4. アスリートビブス（旧ナンバーカード）について

アスリートビブスは胸背部につける。（跳躍競技は胸または背のみでもよい）

5. トラック種目は写真判定を行うため、腰ナンバーカードを必ずつけること。

6. 走路順、競技順について

トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順による。

7. 競技場靴について

①競技場は全天候舗装であるため、スパイクの数は 11 本以内、長さ 9mm 以内とする。

ただし、やり投・走高跳の場合は 12mm 以内とする。また、スパイクの先端近くで、少なくとも

長さの半分は4mm四方の定期に適合するように作られていなければならない。

②WA規則第143条を適用するため、ソールの最大の厚さが25mmを超えるシューズは使用できない。800m以上の種目に出場する競技者は、競技に使用するシューズを招集所に持参し靴底の検定を受ける。800m以上の種目に出場の競技者で、検定を受けたシューズ以外の規則違反シューズで出場した場合、失格となる。競技終了後、再検定することがある。

8. 競技について

①不正スタート1回で、失格とする。

②トラック競技は写真判定装置を使用する。(1/1000)

③フィールド競技におけるバーの上げ方(当日の状況により変更することもある)

種目	練習	1	2	3	4	
走高跳	男	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00
	女	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60
棒高跳	男	3m80	3m90	4m10	4m30	4m50
		4m80				
	女	2m40	2m50	2m70	2m90	3m10
		3m00				

・以降、最後の一人になるまで走高跳は3cm、棒高跳は10cmきざみで上げる。

・第1位決定試技のバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳は5cmとする。

④混成競技におけるバーの上げ方(当日の状況により変更することもある)

種目	練習	1	2	3	4	5	
走高跳	男	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75
	女	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50
棒高跳	男	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00

・以降、走高跳は3cm、棒高跳は10cmきざみで上げる。

9. 表彰・関東選手権出場手続きについて

①1位～3位までは表彰式を行います。競技終了後、表彰控所に集合すること。4位～8位までの入賞者は、役員室1に賞状を取りにくること。(代理不可)

②本大会は、関東選手権大会の予選会となっているので、6位までの入賞者(チーム)は、申込手続きを本部席(役員室1)で行うこと。(女子3000mSC・混成競技は3位)

5000m・10000m・5000mWについては、今年度から関東選手権大会種目から削除された。

③関東選手権大会を辞退する場合は、本部に報告すること。

④申し込み締め切りは大会期間中（7月7日）とし、申し込みがなかった時は、辞退とみなす。

⑤少年B・少年共通種目は、表彰の対象としない。国体選手選考の資料とする。

10. やり投の検定は、ミーティング室前で行う。競技開始90分～80分前に検定を受けること。

11. その他

①貴重品の管理は、各自で行うこと。（責任は負わない）

②応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部に連絡して処置を受ける。

③新型コロナウイルス感染症の対応として日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイダンス」に準拠し行う。

④観覧入場ゲートはメインスタンド側のEFゲートとバックスタンド側のLゲート・Oゲートとする。

⑤大会開催中、最終種目の招集完了時刻をもって補助競技場を施錠する。

【練習会場での注意事項】

①練習は各団体監督のもと、事故防止に十分配慮すること。

②補助競技場では危険が伴うので、十分に注意すること。

③補助競技場等のウォーミングアップエリアへは混雑を回避するために付添等はいらないこと。

④補助競技場の使用レーンについては次の通りとする。

1～2レーン：中・長距離 3～6レーン：短距離 7～8レーン：ハードル

⑤投てき場での投てき物を使用した練習は禁止とする。投てき場の使用w-u pのみとする。

投てき種目の競技が終了次第、投てき場は施錠する。